

廃炉発官 R 2 第 7 2 号  
令和 2 年 6 月 29 日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区内幸町 1 丁目 1 番 3 号  
東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 小早川 智明

福島第一原子力発電所 保安検査における指標の提出について

平成 28 年 4 月 13 日付「保安検査における指標の収集について（指示）」（原子力規制委員会 NRA-Ca-16-001）に基づき、福島第一原子力発電所の令和 元年度分データをとりまとめましたので、別紙のとおり提出いたします。

別紙

・令和 元年度 福島第一原子力発電所 保安検査における指標について

以 上

別紙

令和元年度  
福島第一原子力発電所  
保安検査における指標について

令和2年 6月

東京電力ホールディングス株式会社

No.	指示文書による指標	収集データ	令和元年度	備考
1	作業計画 安全上重要な設備 <sup>*1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して計画された保修作業件数及び完了済みの保修作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事の回数	3件	運転上の制限に記載されている設備に要求されている機能に影響する設備の不具合に関するものが対象
2	安全上重要な設備 <sup>*1</sup> 、重大事故等対処設備及び多様性拡張設備に対して作業期間に係る計画変更を複数回行った件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事、工事の計画時に設定した作業期間を2回以上変更した件数	0件	PTWの作業期間変更回数
3	手順書を変更して実施した作業件数	実施計画の運転上の制限に記載されている機器において、保全計画で定められた定期的実施するもの以外で不具合等により突発的に実施する保修・改造・修繕工事の件数のうちの暫定的な工事件数	0件	「暫定的な」とは、後に別の恒久対策が予定されていて、当該恒久対策とは異なる一時的な対策
4	訓練の種類別の合計実施回数・合計訓練時間・合計参加人数	①原法に基づき総合訓練および要素訓練の回数・人数 ②①の訓練評価に係るコメント数(訓練報告書に記載するコメント数)	①訓練の回数・人数 【総合訓練】 1回 437名 【要素訓練】 ・モニタリング訓練 13回 延べ67名 ・アクションマネジメント訓練 8回 延べ39名 ・電源機能等喪失時訓練 326回 延べ1935名 ②訓練評価に係るコメント数 【総合訓練】 2件	防災訓練実施結果報告書に記載する期間を累計
5	リスク 定検期間中のΔCDF(炉心損傷確率の変化)の最大値	対象外	-	-
6	警報 制御室警報表示の点灯件数(予期せぬ警報に限る)	対象外	-	-
7	安全文化 安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	安全文化醸成活動に関する評価(検査)結果	①トレイツの振り返り活動 ・取組みは概ね計画通り実施 ・副所長・ユニット所長・炉主任による安全文化10特性総合評価傾向(評価指標) ・評価平均点数+1; 上期:2.3点、下期:2.2点 ・低評価(弱み)+2:QA,LA,PI,WP(平均点以下) ②業務品質不適合(HEかつ原子力安全関連あり)の低減に絞った活動 ・取組みは概ね計画通り実施 ・業務品質不適合(HEかつ原子力安全関連あり)発生件数(評価指標):96件	①トレイツの振り返り活動の取組み ・日々の振り返り活動 ・グループ対話活動 ・経営層による安全文化レビュー ・炉主任による安全文化レビュー ②不適合(HE)低減に絞った活動の取組み ・MOIによる現場作業品質向上 ・業務遂行に必要な力量向上 ・品質向上アクションプラン活動 ・適切な作業計画・管理による作業安全の向上 ・放射線防護に関する教育 *1 評価点数:1~3点 下期から評価方法を3段階から4段階(1~4点)に変更。下期評価平均点数2.2点は、4段階評価点数2.9点を3段階評価点数に変換した値。 *2 安全文化10特性 ・QA:問いかける姿勢 ・LA:リーダーの安全に対する価値観と行動 ・PI:問題の特定と解決 ・WP:仕事の計画・管理
8	不適合関連 不適合発生件数	NG I ~ NG III 毎の不適合発生件数	NG I : 14件 NG II : 64件 NG III : 677件	
9	不適合の処置が完了するまでの平均期間	年度末時点における、是正処置未完了の不適合件数(累計は不適合グレード毎)	NG I : 7件 NG II : 37件 NG III : 92件	
10	不適合の再発件数	是正処置の検討を要する全ての不適合で再発した件数	NG I : 1件 NG II : 4件 NG III : 16件 再発判定待: 4件	
11	不適合のうち安全上重要な設備 <sup>*1</sup> に関する件数	是正処置を要する全ての不適合のうち、実施計画の運転上の制限に記載されている機器に関する件数	NG I : 2件 NG II : 0件	No.1で抽出された事象のうち、NG I・NG IIの不適合
12	ヒューマン・エラーに起因する不適合件数	ヒューマンエラーと判定した不適合件数	121件	
13	不適合のうち水平展開が必要と判断した件数、完了するまでの期間及び完了件数	①年度内に発生した影響評価書の件数 ②年度末時点で未完了となっている影響評価書の件数(過年度からの繰越し案件を含む)	① 4件 ② 9件 年度内発生のうち未完了の件数(3件) 過年度からの繰越し件数(6件)	
14	RCA 根本原因分析を要する事象件数と直接原因分析を要する事象件数	根本原因分析(RCA)実施件数 直接原因分析(NG I のHE)実施件数	根本原因分析:0件 直接原因分析:2件	
15	累積根本原因分析 <sup>*2</sup> を要する事象件数	共通要因分析実施件数	0件	

No.	指示文書による指標	収集データ	令和元年度	備考
16	内部監査の実施回数	内部監査の実施回数	16回	
17	内部監査の指摘事項件数	内部監査の指摘事項・要望事項・良好事例それぞれの件数	指摘事項: 1件 要望事項: 5件 良好事例: 11件	
18	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	内部監査の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	53日	
19	内部監査の指摘事項の処置期限の達成割合	内部監査の指摘事項・要望事項の処置期限の達成割合	100%	
20	内部監査による指摘事項の再発件数	内部監査による指摘事項・要望事項の再発件数	0件	
21	マネジメントレビューの実施回数	社長の行うマネジメントレビューの実施回数	1回	「2018年度マネジメントレビュー」として2019年6月に実施したものをカウント(「2019年度マネジメントレビュー」は2020年6月に実施)
22	マネジメントレビューによる指示事項と未完了件数	①社長の行うマネジメントレビューにおける指示事項件数 ②当年度レビュー実施後の時点での未完了の件数	①2件 ②1件	同上
23	マネジメントレビューによる再指示件数	社長の行うマネジメントレビューによる再指示件数	0件	同上
24	発電所長レビューによる指示事項と未完了件数	①発電所長レビューにおける指示事項件数 ②当該年度下期レビュー実施後の時点での未完了の件数	① 0件 ② 0件	
25	発電所長レビューによる再指示件数	発電所長レビューによる再指示件数	0件	
26	外部機関によるレビューの実施回数	外部機関によるレビュー・検査等の実施回数	保安検査 4回	保安検査及びIAEAのOSARTを対象とする。WANO/JANSIによるレビュー、原子力安全監視室による監視評価は対象としない。
27	外部機関からの指摘事項件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項件数	保安検査 2件	
28	外部機関の指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	指摘事項の処置を完了するまでの平均期間	保安検査 27日	
29	外部機関の指摘事項の処置期限の達成割合	指摘事項の処置期限の達成割合	保安検査 100%	
30	外部機関による指摘事項の再発件数	外部機関によるレビュー・検査毎の指摘事項の再発件数	保安検査 0件	

※1 発電用軽水型原子炉施設の安全機能の重要度分類に関する安全指針で定められているクラス1、クラス2、クラス3に属する構造物、系統及び機器  
 ※2 複数の類似事象から共通的な問題を抽出し解決する根本原因分析(RCA)